平成27年度行政評価シート【個表】

平成 27 年 6 月 22 日

評価対象事業		評価者	鎌倉消防署・大船消防署警備課担当課長 吉野友明・稲毛哲也
鎌倉・大船消防署警防活動	■ 自治事務 □ 法定受託事務	主管課	鎌倉消防署・大船消防署警備課
		関連課	

総合計画上の位置付け	分野	防災・安全	施策の方針	消防機能の整備・充実

1 事業の目的

対象	市民等
意図	災害対応に関するの装備及び資機材を充実させるとともに、各種訓練を実施し消防・救急活動の強化を図り、消防使命の達成に資する。
効果	有事の際、円滑な活動を行い、市民の生命、身体、財産を災害から守る。

2 平成26年度に実施した事業の概要

年間を通じての立入検査、地水利調査、消防訓練、救急講習、各種訓練等の実施。

3 事業費等基礎データ

	データ区分	27年度当初予算	データ区分	26年度決算		備考
人口等のデータ	人口	177,243人	人口	177,464人		・各年3月31日（住民基本台帳）
	世帯数	80,676世帯	世帯数	80,368世帯		
	事業の対象者数		事業の対象者数			
運営資源状況	当初予算（千円）	0	決算値（千円）	0		鎌倉111人 大船77人 両署長2人及び両署副署長4人を除く平成26年度消防学校入校10名 平成27年度消防学校入校5名
	国県支出金		国県支出金			
	地方債		地方債			
	その他	0	その他			
	一般財源	0	一般財源	0		
	人員配置数	193.0	人員配置数	198.0		
	人件費（千円）	1,637,079	人件費（千円）	1,571,564		
事業経費運営	総事業費（千円）	1,637,079	総事業費（千円）	1,571,564		
	市民1人当りの経費（円）	9,236	市民1人当りの経費（円）	8,856		
	対象者1人当りの経費（円）		対象者1人当りの経費（円）			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

平成26年度事業実施にあたっての課題	近年、多数の団塊世代職員の退職者がおり、職員の年齢層が急激に若返り、事務における知識不足、現場活動における経験不足が懸念される。	
課題解決のために行った平成26年度の取組	当直中に実践的防ぎょ訓練、走行訓練、図上訓練等を定期的に実施し、知識及び経験不足の解消に努める。	□ 解決 ■ 一部解決 □ 未解決
未解決の課題 新たな課題	災害出動優先となるため、訓練時間の確保に苦慮している。	

効率性	事業費に削減余地はないか		2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか		3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか		2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいか		3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か		5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか		2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいか		3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施	△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
			協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	□ a:事業内容を見直す ⇒	見直しの種類	□ 拡大 □ 縮小 □ その他	見直しの内容
	■ b:事業内容は現状通りとする			
	□ c:事業を休止又は廃止する			
	□ d:他事業と統合し、本事業は廃止する ⇒			事業へ統合
予算規模の方向性	□ A:予算規模を拡大する ■ B:予算規模は現状維持とする □ C:予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	若い職員に対する訓練方法について、当直責任者、部隊長間で協議し、課題を整理しながら、効率的に行っていく。 予算規模については、あらゆる工夫をし、配当された予算内で展開していく。 今後も、市民が安心してくらせるまちづくりに寄与していく。	
総評	消防業務全般の継承が急務であり、特に現場活動については経験が必要であることから、継続的に各種訓練を実施し若手職員の経験不足を補い、万全の態勢で災害現場での活動を実施する。			

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	若手消防職員の経験不足解消にともなう訓練等の実施	単位	%	指標の傾向	↗	備考

当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
多数の団塊世代職員の退職により、年齢層が若返り、消防業務全般の継承が急務であるため。	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	実績値	60.0					
	達成率	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

指標の内容		単位		指標の傾向		備考

当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						

指標の内容		単位		指標の傾向		備考

当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						

指標の内容		単位		指標の傾向		備考

当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						

指標の内容		単位		指標の傾向		備考

当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	消防業務全般における、事務処理及び活動時に必要な技術の継承を継続的に行い、消防力の維持強化を目標とする。

● 事業に関する特記事項

□ 第3期基本計画前期実施計画重点事業	□ 19節で予算措置している補助金が含まれる事業